



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 出光興産株式会社

コード番号 5019 URL <http://www.idemitsu.co.jp>

代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）中野 和久

問合せ先責任者 （役職名）経理部IR室長 （氏名）橋床 泰治 TEL 03-3213-9307

四半期報告書提出予定日 平成24年8月14日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,056,745	7.0	8,657	△82.2	8,928	△82.7	△290	—
24年3月期第1四半期	988,044	12.7	48,506	55.7	51,735	58.2	28,512	92.1

（注）包括利益 25年3月期第1四半期 13,751百万円（△63.9％） 24年3月期第1四半期 38,057百万円（154.2％）

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△7.27	—
24年3月期第1四半期	713.01	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,581,013	620,721	22.9
24年3月期	2,682,139	614,513	21.9

（参考）自己資本 25年3月期第1四半期 591,381百万円 24年3月期 586,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	75.00	—	125.00	200.00
25年3月期	—				
25年3月期（予想）		100.00	—	100.00	200.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	2,080,000	0.6	8,500	△88.6	3,500	△95.4	△7,000	—	△175.04
通期	4,180,000	△3.0	55,000	△60.2	54,500	△59.2	19,500	△69.7	487.63

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	40,000,000株	24年3月期	40,000,000株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	10,283株	24年3月期	10,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	39,989,717株	24年3月期1Q	39,989,853株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は完了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の国内の石油製品需要は、原子力発電所の停止に伴い、重油などを燃料とする火力発電所の稼働が上がった影響などにより、前年と比べて増加しました。

ドバイ原油価格は期初120ドル／バレル近辺だったものの、5月に入り欧州経済の先行き不透明感が強まったことや、米国景気の減速懸念から投資資金が流出した影響などにより、6月後半には90ドル／バレルを下回る価格となりました。この結果、4～6月の平均価格は前年同期比4.3ドル／バレル下落の106.4ドル／バレルとなりました。

石油化学製品需要は、欧州債務問題や金融引き締めの影響で、中国経済の減速感が強まったことなどにより減少しました。石油化学原料であるナフサ価格は原油価格と同様に下落しましたが、前年同期比では31ドル／トン上昇の1,038ドル／トンとなりました。

(原油価格、ナフサ価格、為替レートの状況)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	
ドバイ原油 (ドル／バレル)	110.7	106.4	△4.3	△3.9%
ナフサ価格 (ドル／トン)	1,007	1,038	31	3.1%
為替レート (円／ドル)	82.7	81.2	△1.5	△1.8%

当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、石油製品の販売数量が増加したことなどにより前年同期比7.0%増の1兆567億円となりました。

営業利益は、原油価格の下落により在庫評価損が発生したことや、石油製品マージンが縮小した影響などにより、前年同期比82.2%減の87億円となりました。

営業外損益は、持分法投資利益が減少した影響などにより、前年同期比91.6%減の3億円の利益となりました。この結果、経常利益は前年同期比82.7%減の89億円となりました。

特別損益は、前年同期比19億円損失減の4億円の損失となりました。また、法人税等、少数株主利益は、前年同期比57.8%減の88億円となりました。

以上の結果、四半期純損益は前年同期比288億円減益の3億円の損失となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

[石油製品部門]

当第1四半期連結累計期間における石油製品部門の売上高は、販売数量が増加したことなどにより前年同期比6.5%増の8,647億円となりました。

営業損益は、経費削減や合理化などによる増益要因はあったものの、原油価格下落により在庫評価損が発生したほか、原油価格の動きに反応して製品市況が急落し、入着した原油コスト対比で製品マージンが縮小した影響などから、前年同期比430億円減益の50億円の損失となりました。

[石油化学製品部門]

当第1四半期連結累計期間における石油化学製品部門の売上高は、中国需要の鈍化により販売数量は減少したものの、通関ナフサ価格が上昇したことなどにより前年同期比3.5%増の1,347億円となりました。

営業利益は、経費削減や合理化に取り組んだことや、製品市況の下落以上にナフサコストが下落したことで製品マージンが改善したことなどから、前年同期比50.5%増の17億円となりました。

[資源部門]

(石油開発事業)

当第1四半期連結累計期間における石油開発事業の売上高は、1月～3月のブレント原油価格が118.5ドル／バレルと前年同期比13.5ドル／バレル上昇したことなどから、前年同期比11.6%増の270億円となり、営業利益は32.6%増の120億円となりました。

(石炭事業・その他事業)

当第1四半期連結累計期間における石炭事業・その他事業の売上高は、石炭の販売価格が上昇したことなどにより前年同期比23.2%増の224億円となりました。

営業利益は、降雨による生産効率の悪化からコストが上昇したことや、豪ドル高による為替の影響などから、前年同期比50.3%減の14億円となりました。

以上の結果、資源部門は、売上高は前年同期比16.6%増の494億円、営業利益は前年同期比13.4%増の134億円となりました。

[その他部門]

当第1四半期連結累計期間におけるその他部門の売上高は、前年6月に株式公開買い付けにより(株)エス・ディー・エス バイオテックを連結子会社としたことなどから、前年同期比110.1%増の80億円となり、営業損益は前年同期比7億円利益増の1億円の営業利益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部・負債の部及び純資産の部の状況

資産の部では、原油価格の下落などにより売掛債権及びたな卸資産が減少し、負債の部では買掛債務が減少しました。有利子負債は、前連結会計年度から185億円減の9,013億円となりました。これらの結果、連結総資産は前連結会計年度末に比べ1,011億円減の2兆5,810億円となり、連結総負債は前連結会計年度末に比べ1,073億円減の1兆9,603億円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、円安により為替換算調整勘定が増加したことなどで前連結会計年度末に比べ62億円増の6,207億円となり、自己資本比率は22.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の実績及び今後の見通しを勘案し、平成24年5月1日公表の予想を修正しました。なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税金等調整前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しています。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	171,480	154,407
受取手形及び売掛金	452,348	391,454
たな卸資産	585,579	538,054
その他	122,243	115,812
貸倒引当金	△1,092	△1,022
流動資産合計	1,330,559	1,198,706
固定資産		
有形固定資産		
土地	601,434	600,730
その他（純額）	384,691	397,783
有形固定資産合計	986,125	998,513
無形固定資産		
のれん	32,027	32,809
その他	20,713	20,932
無形固定資産合計	52,741	53,742
投資その他の資産		
油田プレミアム資産	89,018	100,820
その他	224,091	229,679
貸倒引当金	△396	△449
投資その他の資産合計	312,713	330,051
固定資産合計	1,351,579	1,382,306
資産合計	2,682,139	2,581,013
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	407,490	329,048
短期借入金	353,625	339,256
コマーシャル・ペーパー	14,998	14,998
未払金	272,367	246,956
未払法人税等	25,429	18,732
その他	104,223	108,983
流動負債合計	1,178,135	1,057,976
固定負債		
長期借入金	547,303	543,383
退職給付引当金	24,387	22,461
修繕引当金	25,064	27,799
資産除去債務	31,511	34,908
油田プレミアム負債	92,473	104,217
その他	168,750	169,545
固定負債合計	889,490	902,315
負債合計	2,067,626	1,960,291

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	108,606	108,606
資本剰余金	71,131	71,131
利益剰余金	288,762	283,572
自己株式	△117	△117
株主資本合計	468,382	463,192
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	843	△1,904
繰延ヘッジ損益	△5,876	△4,850
土地再評価差額金	151,432	151,333
為替換算調整勘定	△28,205	△16,389
その他の包括利益累計額合計	118,193	128,188
少数株主持分	27,936	29,340
純資産合計	614,513	620,721
負債純資産合計	2,682,139	2,581,013

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)
売上高	988,044	1,056,745
売上原価	879,027	987,925
売上総利益	109,017	68,820
販売費及び一般管理費		
運賃	13,929	13,708
賞与引当金繰入額	2,085	2,238
退職給付引当金繰入額	1,020	1,038
その他	43,475	43,178
販売費及び一般管理費合計	60,511	60,163
営業利益	48,506	8,657
営業外収益		
受取利息	441	424
受取配当金	748	1,322
持分法による投資利益	4,523	1,845
その他	1,900	983
営業外収益合計	7,613	4,576
営業外費用		
支払利息	3,849	3,662
その他	533	642
営業外費用合計	4,383	4,305
経常利益	51,735	8,928
特別利益		
固定資産売却益	200	192
その他	64	83
特別利益合計	265	275
特別損失		
減損損失	382	13
投資有価証券評価損	387	302
固定資産売却損	30	114
固定資産除却損	391	220
訴訟関連損失	1,313	—
その他	47	—
特別損失合計	2,552	650
税金等調整前四半期純利益	49,448	8,553
法人税等	19,952	7,424
少数株主損益調整前四半期純利益	29,495	1,129
少数株主利益	982	1,420
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	28,512	△290

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益	29, 495	1, 129
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1, 513	△2, 696
繰延ヘッジ損益	1, 727	2, 153
為替換算調整勘定	7, 857	13, 883
持分法適用会社に対する持分相当額	490	△718
その他の包括利益合計	8, 561	12, 622
四半期包括利益	38, 057	13, 751
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	35, 181	9, 803
少数株主に係る四半期包括利益	2, 876	3, 947

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	811,823	130,076	42,356	984,255	3,788	988,044	—	988,044
セグメント間の内部 売上高又は振替高	311	553	0	865	214	1,080	△1,080	—
計	812,134	130,629	42,356	985,121	4,003	989,124	△1,080	988,044
セグメント利益又は損失 (△)	37,973	1,138	11,777	50,888	△647	50,241	△1,734	48,506

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,734百万円には、セグメント間取引消去△219百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,515百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要なものはありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	石油製品	石油化学 製品	資源	計				
売上高								
外部顧客への売上高	864,732	134,680	49,372	1,048,785	7,960	1,056,745	—	1,056,745
セグメント間の内部 売上高又は振替高	596	582	△0	1,179	399	1,578	△1,578	—
計	865,328	135,262	49,372	1,049,964	8,360	1,058,324	△1,578	1,056,745
セグメント利益又は損失(△)	△4,979	1,713	13,357	10,092	60	10,153	△1,495	8,657

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、エンジニアリング事業、保険事業、電子材料事業、アグリバイオ事業等を含んでいます。

2. セグメント利益の調整額△1,495百万円には、セグメント間取引消去△392百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,103百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費です。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要なものはありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。